

【考察】

判定基準の「よくあてはまる（たいへんよい）」と「ややあてはまる（よい）」を
あわせた肯定的な回答は、次の表のとおりです。

	評価項目 ()は、児童アンケートの際に使用した言葉です。	保護者 (%)	児童 (%)	差 保-児
1	進んで学習に取り組んでいる。(学習することは楽しい。)	71	83	-12
2	自分の考えや意見を進んで発表している。	52	55	-3
3	時間やきまりを守って生活している。	77	87	-10
4	宿題や自主学習に進んで取り組んでいる。	75	84	-9
5	安全に気を付けて生活している。	97	92	+1
6	交通ルールを守っている。	98	94	+4
7	友達と仲よく生活している。	96	97	-1
8	きちんと返事やあいさつをしている。	90	75	+15
9	学級で安心して生活している。	93	94	-1
10	学校は、情報を保護者に適宜知らせている。	92		
11	学校は、充実した体験活動を行っている。(楽しい。)	93	98	-5
12	学校は地域や保護者の方が関われる機会を設定している。 (楽しい。)	88	90	-2
13	学校はICT機器を効果的に活用している。(楽しい。)	87	94	-7
14	学校は安全面の配慮を適切にしている。 (安全の学習は役に立っている。)	98	92	+6

※80%を下回った項目と、
保護者と児童の差が10%以上あった項目は、
塗りつぶしがしてあります。

【成果：80%以上の肯定的な評価項目】

5～7と9～14までの項目については、85%以上の肯定的な結果となりました。特に「7：友達と仲よく生活している。」については、最も肯定的な評価でした。コロナ禍での制限がある中でも、感染対策を講じながら友達との交流を楽しんでいる様子が見られます。

【課題A：保護者と児童の評価の差が10%以上ある評価項目】

- 「1：進んで学習に取り組んでいる。(学習することは楽しい。)」については、児童は学校での学習を中心に評価した一方で、保護者の皆様は、ご家庭での学習の様子について評価したものと推察いたします。今後より一層家庭での学習にもさらに主体的に学習に取り組めるように指導を進めて参ります。
- 「3：時間やきまりを守って生活している」については、保護者評価より児童評価が10%低くなっています。休日や長期休業中の予定表などを決める等、主体的・計画的に生活できるように指導を進めて参ります。
- 「8：きちんと返事やあいさつをしている。時間やきまりを守って生活している。」については、児童評価が保護者評価より15%低くなっています。今後はより一層、あいさつや返事がよくできた際に、その良さをその都度称賛し、あいさつや返事に関する自己肯定感を高めて参ります。

【課題B：保護者評価において80%を下回る評価項目】

1～4の学習面についての項目が低い結果が出ております。特に「2：自分の考えや意見を進んで発表している」については、保護者・児童共に50%台です。これは、コロナ禍で主体的で対話的な学習場面が減っていたり、感染対策を講じていたために話しにくかったりしたことも一因であると考えます。今後、このような状況下でも感染拡大防止策を講じながら主体的で対話的な深い学びのある学習活動を実践して参ります。

【その他の欄にいただいたご意見(Q)・ご要望に対する回答(A)】

Q「学級での生活」について：安心して教室に通えるようお願いしたい。

A 児童の主体性を大切にしながら学級内で安心して授業を受けられるよう、道徳教育・人権教育をはじめ、学校の教育活動全体を通じて、いじめや暴力を許さず、相手を思いやる心や個性を認め尊重する態度等を育てることにさらに力を入れて参ります。学校と家庭とが連携し、「いじめを見逃さない、許さない」意識の共有を一層図って参ります。

Q「リモートでの学習」について：休んだときにもリモートでの学習が円滑にできるようにしてもらいたい。

A 定期的(毎月)に、全学年で授業をリモートで実施する期間を設け、リモートでの授業を実施して参ります。こうした取組は、新型コロナウイルス感染症への対策のみならず、インフルエンザ等の流行による臨時休業等にも備え、「子どもたちの学びを止めない」ために必要であると考えております。

※ このほか、「宿題等の提出物を担任から声を掛け、確認してもらいたい。」「授業参観は中止とせずウエブ参観などを取り入れてもらいたい。」「朝の五社神社前交差点の見守りを行ってもらいたい。」「体育館の渡り廊下を滑りにくいように修繕してもらいたい。」等のご要望をいただきました。学校内で検討させていただき、今後の教育活動を進める際の参考とさせていただきます。大変ありがとうございます。